

令和5年度

白老町統一学力調査〔標準学力調査〕結果概要

令和5年7月に実施した白老町統一学力調査〔標準学力調査〕の結果概要と本町における学力向上の取組についてご報告いたします。

1 実施調査

標準学力調査〔CRT〕東京書籍

2 調査目的

- (1) 教育委員会及び各学校が、自らの教育施策及び教育活動の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (2) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

3 実施学年、実施人数、実施教科

(1) 小学校

実施学年	実施人数	実施教科
小学校2年生	65人	国語 算数
小学校3年生	67人	
小学校4年生	59人	
小学校5年生	71人	

(2) 中学校

実施学年	実施人数	実施教科
中学校1年生	76人	国語、社会、 数学、理科
中学校2年生	87人	国語、社会、 数学、理科、 英語

4 調査結果概要

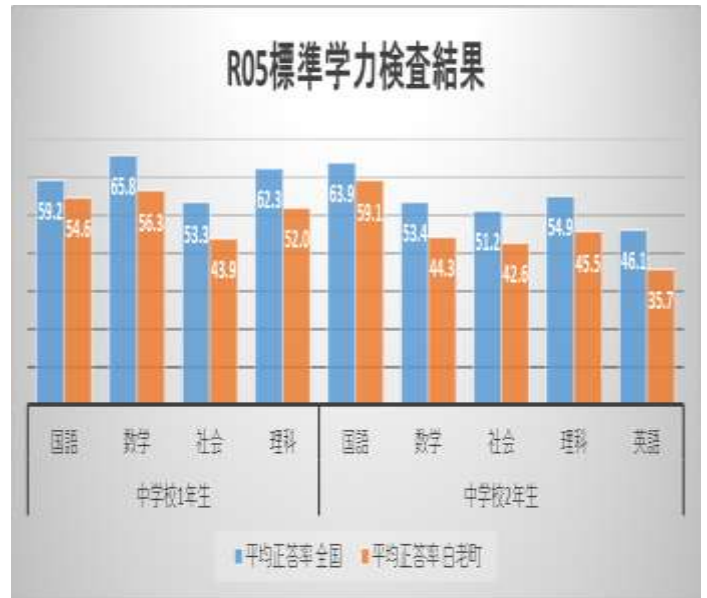
(1) 小学校

実施学年	教科	平均正答率	
		全国	白老町
小学校2年生	国語	76.9	69.7
	算数	82.9	79.3
小学校3年生	国語	72.5	73.2
	算数	74.6	69.9
小学校4年生	国語	70.8	62.9
	算数	71.9	57.1
小学校5年生	国語	70.0	63.9
	算数	67.1	52.4



(2) 中学校

実施学年	教科	平均正答率	
		全国	白老町
中学校1年生	国語	59.2	54.6
	数学	65.8	56.3
	社会	53.3	43.9
	理科	62.3	52.0
中学校2年生	国語	63.9	59.1
	数学	53.4	44.3
	社会	51.2	42.6
	理科	54.9	45.5
	英語	46.1	35.7



5 各学年の傾向（国語、算数・数学）

(1) 小学校

< 2年生 >



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 特に「読むこと」の領域の定着が課題です。



- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 「測定」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。
- 「図形」の領域の定着が課題です。

< 3年生 >



- 多くの領域で、全国平均と同様の傾向にあります。
- 特に「書くこと」の領域は、全国平均より極めて高い傾向にあります。



- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 「データの活用」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。
- 「数と計算」の領域の定着が課題です。

< 4年生 >



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。
- 「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。
- このほかの領域の定着が課題です。



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。

< 5年生 >



- 多くの領域で、全国平均より低い傾向にあります。
- 「情報の扱い方に関する事項」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。
- このほかの領域の定着が課題です。



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。

(2) 中学校

< 1年生 >



- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」などの領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。

< 2年生 >



- 多くの領域で、全国平均よりやや低い傾向にあります。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域は、全国平均と同程度の定着が見られます。
- このほかの領域の定着が課題です。



- 多くの領域で、全国平均よりかなり低い傾向にあります。